

令和2年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 十日町福祉会	代表者	村山 薫	法人・ 事業所 の特徴	十日町市の中心部に位置する事業所の利便性を活かして、街中や地域での行事にご利用者も参加しています。また、地域の人たちが住み慣れた地域での暮らしが継続していくことができるように相談等も受け入れをし、積極的に対応していきたいと思えます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 事業所三好園四ツ宮	管理者	春川 さとみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	3人	0人	0人	2人	1人	0人	3人	0人	9人

項目	令和2年度の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	令和3年度の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	小規模職員のサービス評価を今後も続ける。	自己評価結果をみても、全員で評価をしているのかどうか判断ができない。	職員の自己評価とかかわりシートの関連性がわかりにくく、記入しづらかった。次年度以降改善をしてもらいたい。	自己評価の確認がしやすいような説明等を加えてわかりやすくする。
B. 事業所のしつらえ・環境	安全で清潔が保てるよう環境整備に努めます。	玄関に整理棚を置くことで以前より整理整頓ができ落ち着いた雰囲気になった。	意見はありませんでした。	心地よい環境を作るとともに安全で清潔が保てるよう環境整備に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事に参加、事業所のイベントをPRする。	地域の行事等もなく、関りをもつことが難しかった。	これからも地域の交流を続けて欲しい。	新しい地域とのかかわり方を検討する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の地域に出向いて暮らしを支えることを多職種と連携して支援する。	地域に出向いていくことができなかった。	利用者の地域の民生委員さんは会議に参加してくれる。(包括)利用者以外のご近所で心配の方は包括に相談するなどの窓口となってほしい。	地域の行事が再開された場合には積極的に参加し、介護支援専門員を中心に定期的に民生委員や地域包括支援センターに訪問し情報共有を図る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	困っているケースや地域の事などの事例検討会を開催する。	会議自体も開催がままならず、取組みができなかった。	運営推進会議での事例検討会の機会がなかった。次年度は、開催してはどうか。包括から事例を出してもらうことはどうか。	困っているケースや地域の事などの事例検討会を開催する。

F. 事業所の 防災・災害対策	事例検討会を開催する。	運営推進委員から総合防災訓練に参加してもらうことができた。地域の人と一緒に行うことができなかった。	今後地域の人と協働で防災訓練を行なったらどうか。(サンクロス等)	地域の消防団と連携を強化するため非常災害緊急連絡網に地域の消防団長の連絡先を入れ、防災図上訓練を一緒に行う。
--------------------	-------------	---	----------------------------------	--

